

## 「放火火災対策」に関するアンケート調査

### 1 調査目的

放火火災は、当局管内において年々減少傾向にあったことから、住民等が放火火災に対する啓発意識が薄れていくことが予想される。しかし、放火火災は、社会情勢等により局地的に多発する可能性があることから、減少していく中でも継続的な意識啓発等の対策が不可欠である。

調査結果を検証し、特に徹底されていない対策について更なる広報や指導により意識啓発を行う目的でアンケート調査を実施する。

### 2 調査対象

市政アンケートモニターとして委嘱した市内在住の150人

### 3 回収件数

141件（回収率94.0%）

### 4 調査方法

インターネットによるアンケート調査

### 5 調査期間

令和4年9月22日（木）～令和4年9月29日（木）

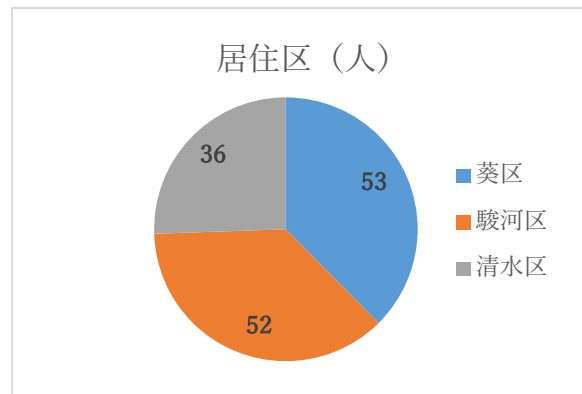
### 6 担当課

予防課

### 7 回答者の属性

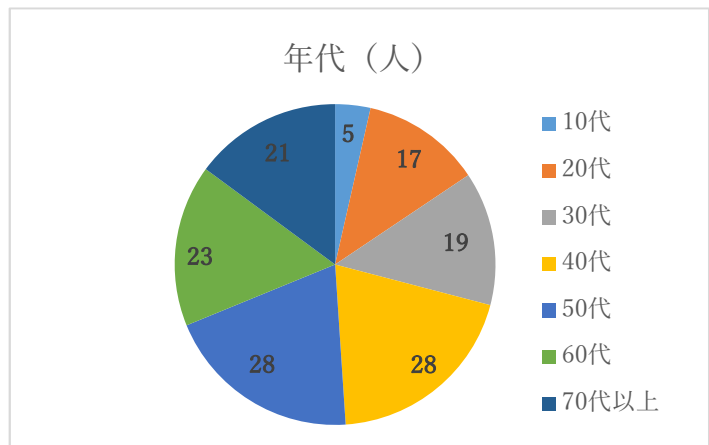
#### (1) 居住区

(人)	
葵区	53
駿河区	52
清水区	36
計	141



#### (2) 年代

(人)	
年代	計
10代	5
20代	17
30代	19
40代	28
50代	28
60代	23
70代以上	21
計	141

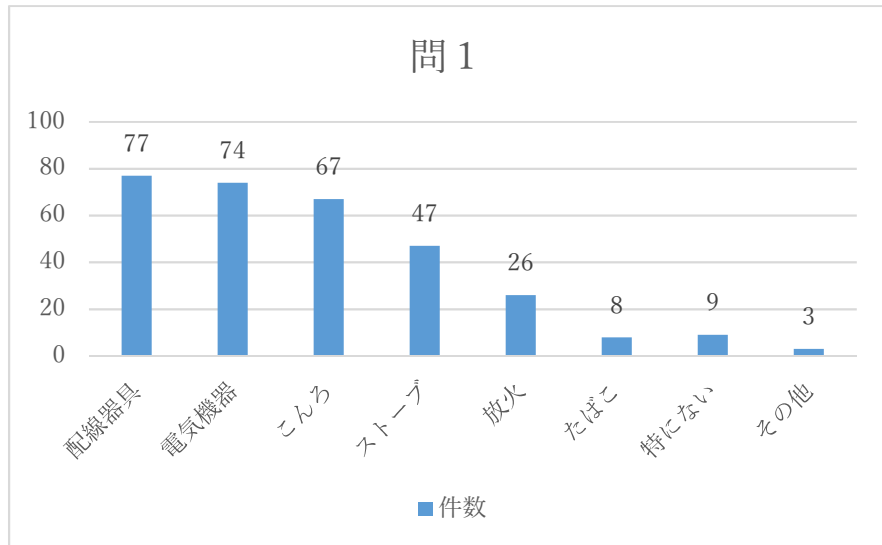


## 8 調査結果・概要

問1 あなたが以下の火災の原因の中で普段から気にかけているものはありますか。(複数選択可)

(件数)

問1	
配線器具	77
電気機器	74
こんろ	67
ストーブ	47
放火	26
たばこ	8
特にない	9
その他	3



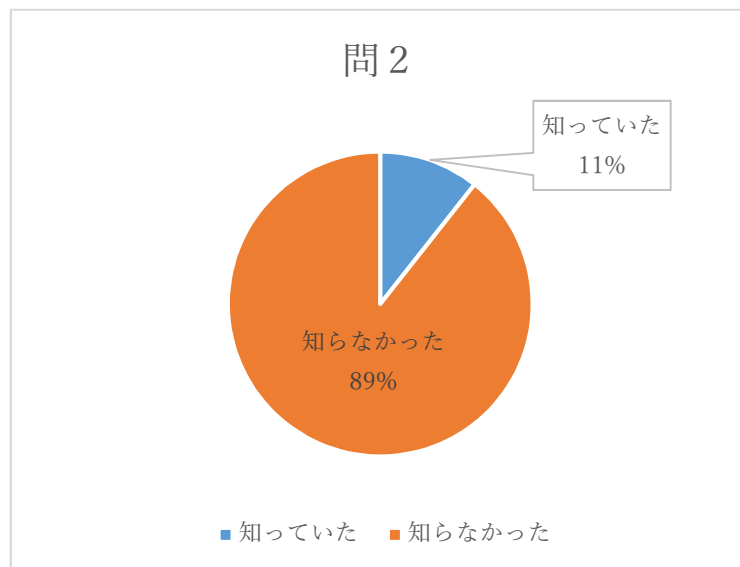
〈その他意見〉

- ・リチウムイオンバッテリー
- ・自殺行為
- ・仏壇の線香と蝋燭の火の処理

問2 静岡市内の火災で、放火火災が多いことを知っていましたか。

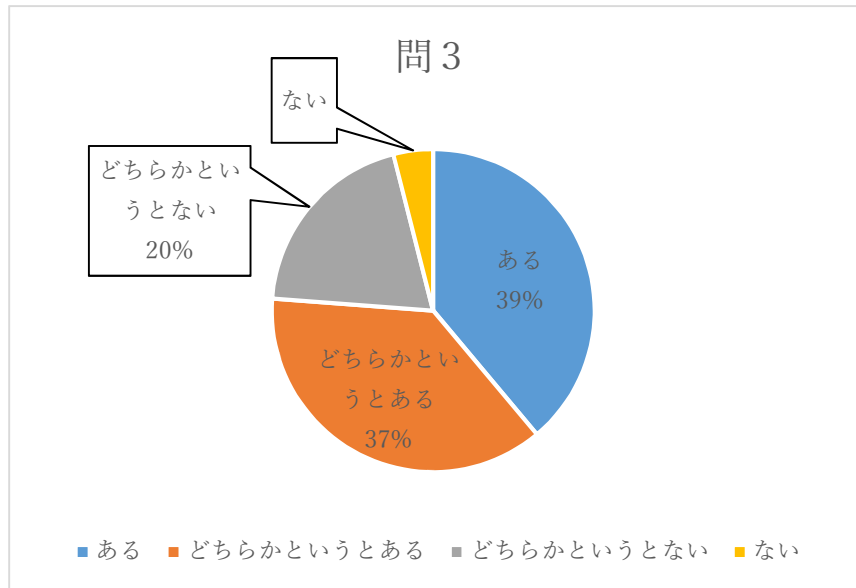
(人)

問2	
知っていた	15
知らなかった	126

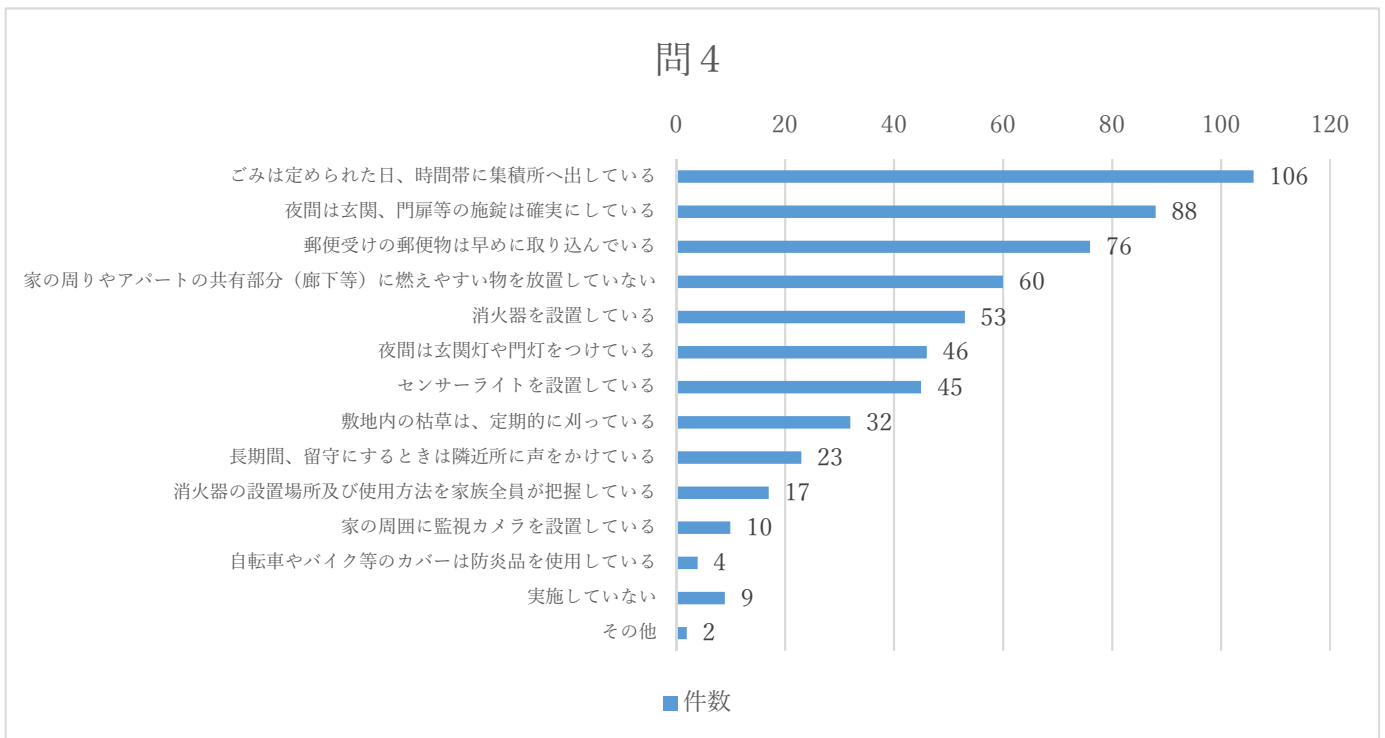


問3 ご自宅の放火対策について関心はありますか。(放火対策実施の有無は問いません。)

問3	
ある	49
どちらかというところ	47
どちらかというところない	25
ない	5



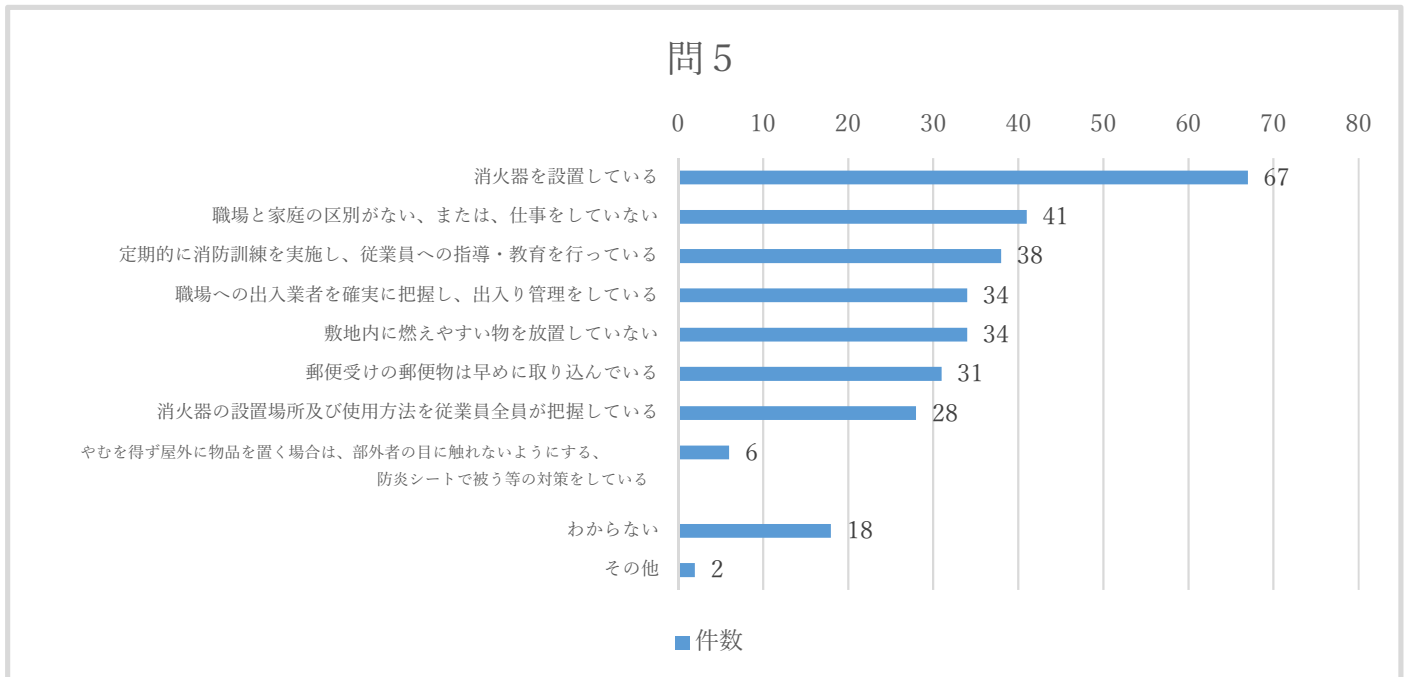
問4 ご自宅で実施されている放火対策はどのようなことがありますか。  
放火対策を意図していなくても該当するものは選択してください。(複数選択可)



〈その他意見〉

- ・ 選択した項目も、特に放火対策としてやっているわけではありません。
- ・ 煙感知器の設置

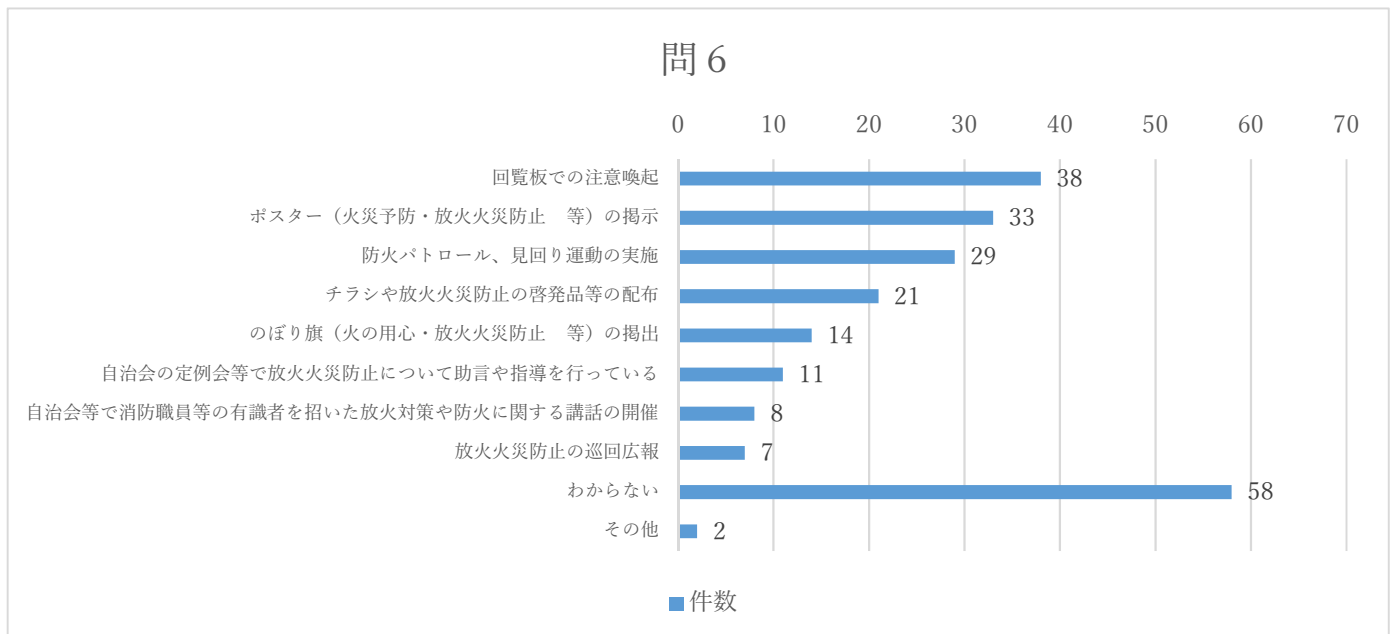
**問5 職場で実施されている放火対策はどのようなことがありますか。  
放火対策を意図していなくても該当するものは選択してください。（複数選択可）**



〈その他意見〉

- ・戸締りは確実にしている。

**問6 お住まいの地域で実際にやっている（目にした）放火対策はありますか。  
放火対策を意図していなくても該当するものは選択してください。（複数選択可）**

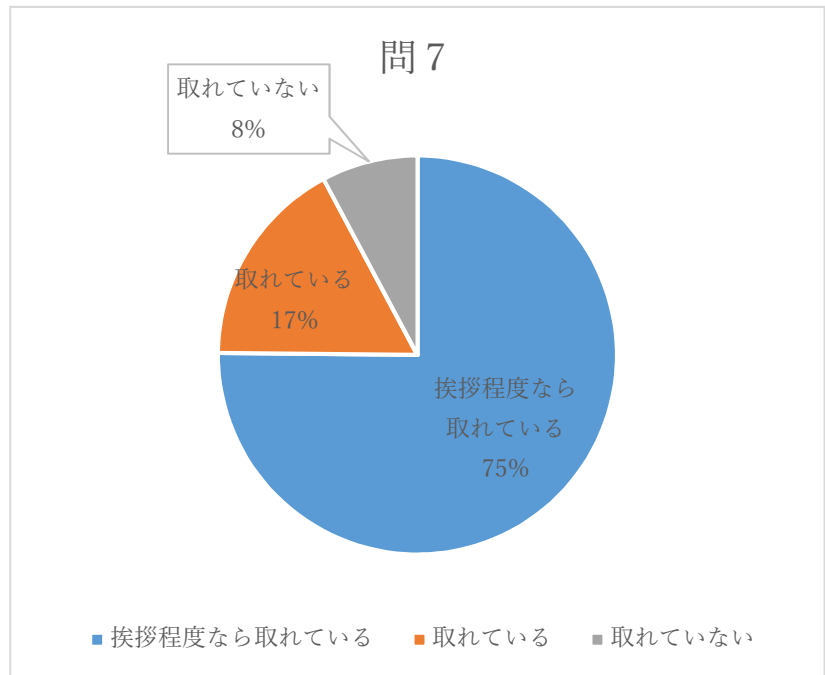


〈その他意見〉

- ・町内各所の消火器設置場所を、地区ごとに紹介している
- ・組長の家に消火器を配布

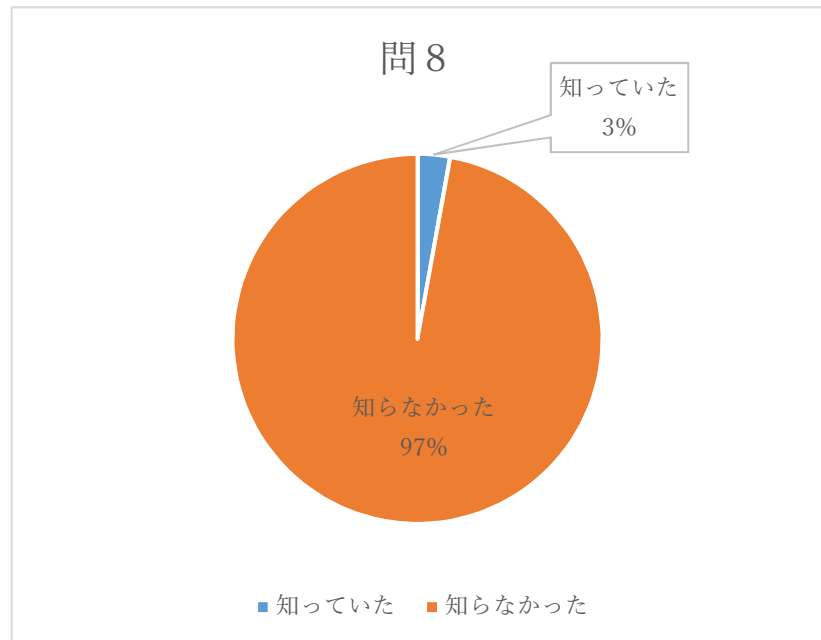
問7 あなたのお住まいの地域では隣近所とコミュニケーションが取れていますか。

問7		(人)
挨拶程度なら取れている	106	
取れている	24	
取れていない	11	



問8 静岡市消防局では、住宅防火対策の一環として、毎年、消防署の管轄ごと一定の地域を対象としたモデル地区を選定し、座談会の開催や広報活動等を地域の方と協力して行っています。このような活動が行われていることを知っていましたか。

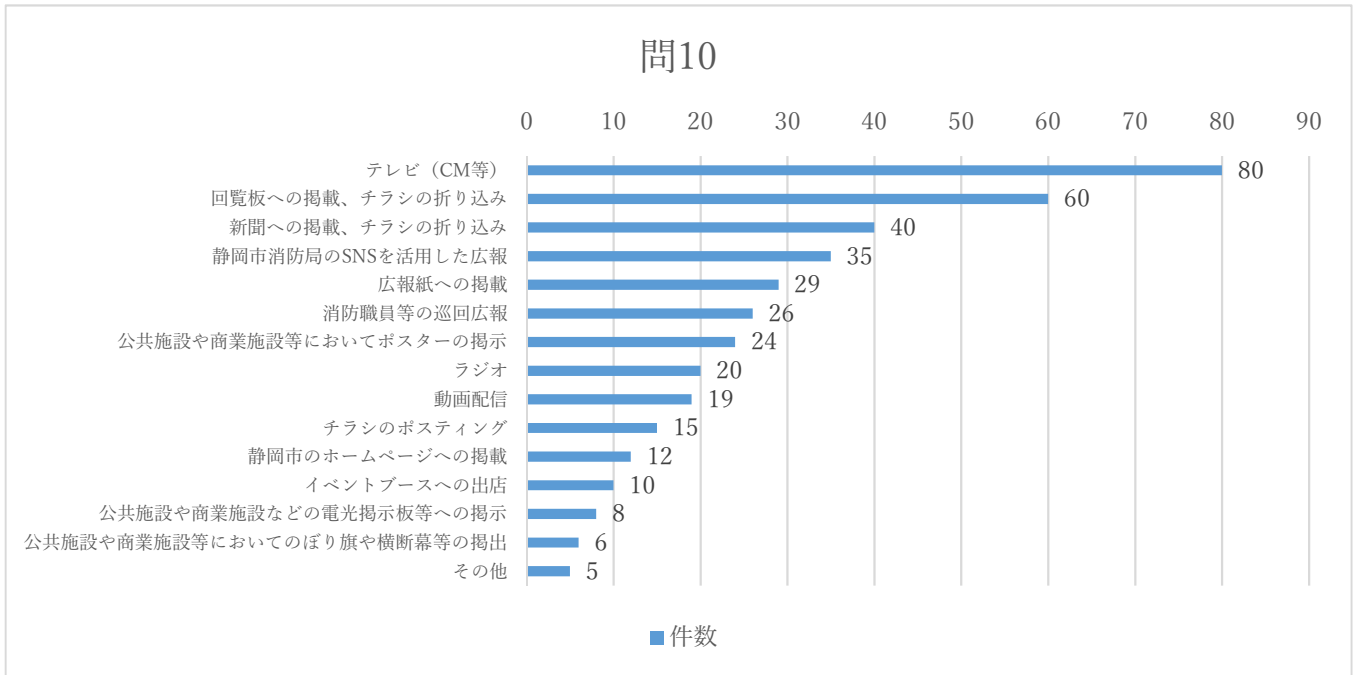
問8		(人)
知っていた	4	
知らなかった	137	



問9 問8で「知っていた」と答えた方に伺います。お住まいの地域がモデル地区に選定されたことがありますか。

問9		(人)
選定されたことがある	0	
選定されたことがない	4	

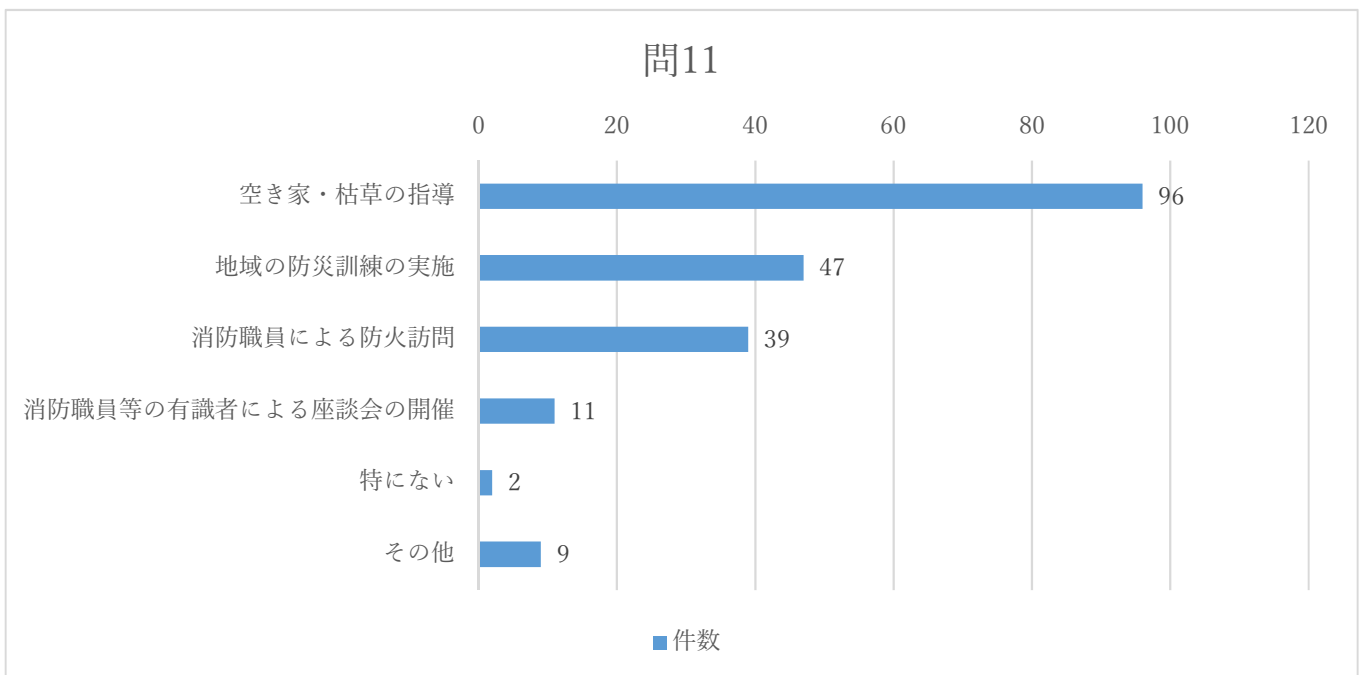
問10 放火火災は、故意による事象であることから、放火火災の防止・対策について恒常的に呼びかける必要があります。あなたにとって、どのような情報発信の方法が目に留まりやすく、効果があると思いますか。上位3位まで選択してください。



〈その他意見〉

- ・バス、電車内や駅でのポスターや宣伝活動。
- ・企業に依頼し、社員に呼びかける。
- ・費用対効果を考えて、最も効果的な情報発信をお願いします。自分では何が最善かはよく分かりません。
- ・広報静岡のスピーカーからの呼び掛け。
- ・同報無線

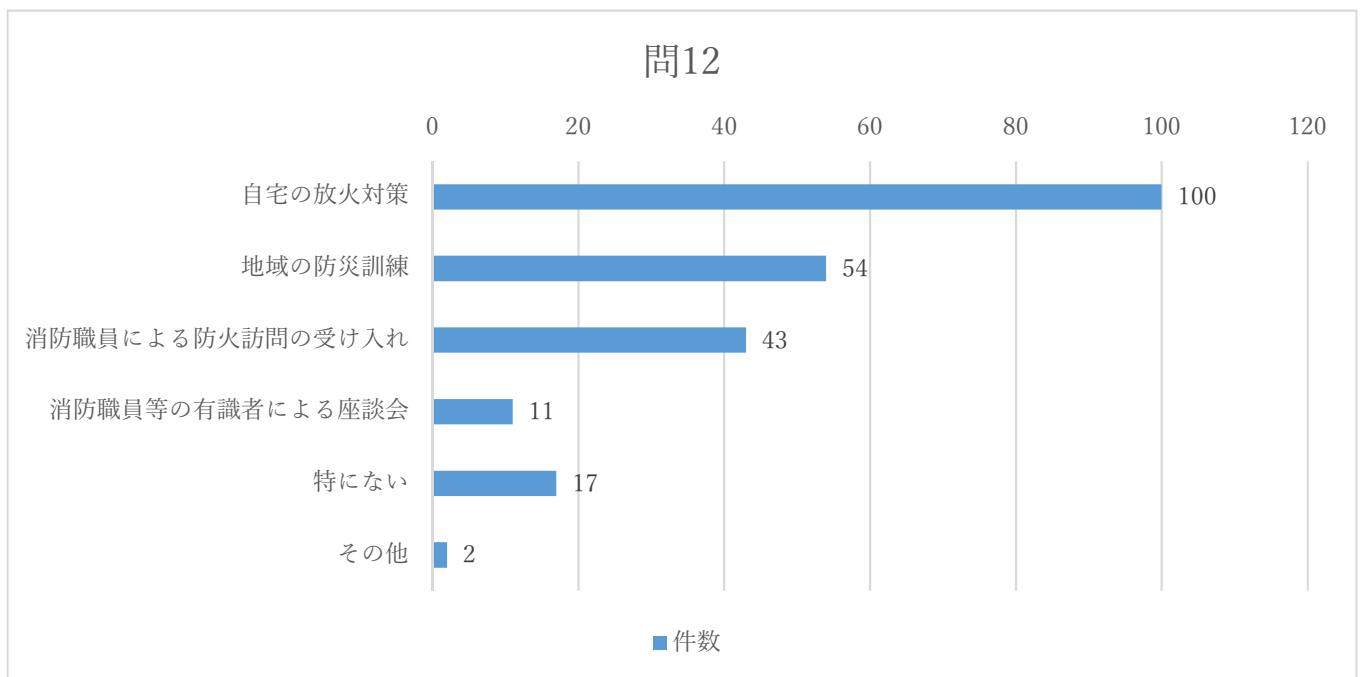
問11 放火対策として、有効だと思う活動はありますか。（複数選択可）



〈その他意見〉

- 学校、職場などで情報を広める。
- ウイズコロナ・アフターコロナ禍において、また若い世代への広報に際しては SNS や動画を活用した広報が効果的であり、内容も端的に短く面白くてわかりやすいものとしたらいかがでしょうか。
- 防犯カメラの設置
- 自分はしずおか防犯パトロールの登録をしていますが、防火にも効果があるでしょうか・・・不審者対策という意味では同じだと思いますが。
- 罰則強化
- インターネット広告。例えばYahoo ニュースの地域版に流すなど。
- 同報無線での注意喚起、放火魔への牽制。ポスティング。色々な場所に監視カメラ（具体的な場所は未公開）がある事を周知させて放火魔を牽制（ブラフも）。
- 放火の罪の大きさ、深さ、罰則の厳しさの啓蒙。

問 12 放火対策として、今後自分が参加、実践したいと思う活動はありますか。（複数選択可）



〈その他意見〉

- あまりピンと来ないのが正直なところですが、防犯対策と重複する部分はあると思います。
- 監視カメラ、人感ライトの設置。

問 13 今後の参考として、放火火災への対策等について皆様のご意見、ご要望等ありましたらお聞かせください。

- 放火に対しての情報(特徴、現状、犯人が捕まっているのかどうか等)を出来る限り早く欲しい。様々なメディアを通じて発信して頂けると有難い。
- 犯人を捕まえて刑罰を加える以上の対策はないと思う。
- 以前は子供のころですが、町内で夜間の火の用心が廻ってきました。身近な人達が廻るので拍子木が聞こえると母はご苦労様と言ったものでした。消防車が廻るのも意義があると思います。やはり放火について広く知らせる、またそれによる損害や危険、ひとの生命財産を奪うことは良くないと知らせることが教育上道徳上必要ではないか。
- 故意に起こされるものであるため、火災が起らないような環境作りを徹底したい。特にごみを決まった日以外では出さないこと、郵便物を早めに取り込む、などはすぐにできることであり、意識して必ず行うようにしたいと思う。
- 火災はまず遭遇することがないので、皆さんの意識は交通事故に比べて薄いように思います。特にオール電化家庭も増え、ガスコンロやストーブの使用が減り火自体を目にすることが少なくなったので、火への警戒心やいざ目の前にした時のとっさの行動力が以前よりも少なくなっている気がします。各家庭でまず放火されにくい環境を作ることが大事だと思います。
- 放火がされやすそうな場所(空き家や暗い路地など?)に、センサー式ライトを設置したり、頻繁でなくても消防士や警察、市の職員がパトロールしたらどうか。
- 18年ほど前、身近に放火と思われる火事が続いた記憶があります。当時、屋外に有る燃えやすい物を整理したり、近隣の人達と、気を付けるよう申し合わせをした覚えがあります。月日が経ち、現在、気持ちに緩みが出て、反省しています。緩んでいる者に対しては、家の周りに燃えやすい物を置かないよう呼びかけ、周知し、各家庭が実行することでしょうか。放火犯の罰則は、重いことを、子供の頃から教える。
- 地域住民や消防団によるパトロール巡回の頻度を上げることで放火対策になるだけでなく、不審者への抑止に繋がると思う。
- 空き家対策を何か良い方法があると、放火だけでなく、多方面で改善されるのではと思います。
- ご近所だけでなく、すれ違う人とも挨拶を欠かさないことで抑止力を生む。
- 防火パトロールなどで常にひとがいる状態にすれば悪いことをする人がいなくなると思うのですが。
- 近年電柱が減ったせいか街灯が少なく暗く感じる。その上、各家庭のカーテンの材質はプライベートが守られている反面、道路へ漏れる明かりが減っている。こんな状況で、ひとりが頑張っても放火は減らない。私は燃えやすい物は絶対に外には置かないよう努めているが、認識の薄い人は多い。ご近所さんを注意したりするといざこざの原因にもなるので注意することもできません。市から町内会に促しの発信をもっとしてもらいたいと思う。
- 火災のニュースをみると、その度恐怖と悲しみを感じます。他人事とは思いません。そして原因の一番が放火というのを今回初めて知り、とても悲しくなりました。ただ理由は何であれ、自宅を守るのは家族の役目なので、改めて気を引きしめるきっかけになったと思います。意識を高めるために、情報を発信していくことは大事だと思いました。ニュースなどで広げて欲しいです。
- 自己管理をしっかりして行きたいと思います
- 若い人たちはInstagramやTikTok等のSNSを多く利用しているため、そういったもので対策の仕方や何に気をつけたらいいのか発信するのが良いと思います。
- 定期的な見回りと、ゴミ屋敷への指導を希望する。
- 放火が一位であることは職場の防災訓練で知りました。きちんとみんなが参加できる地域の防災訓練は必要だと思う。消火器の使い方も実際やってみないとわからないし、一度やっただけでは忘れてしまうので年に一度とかやって、意識を深めていくことで放火も減っていくのではないかと思う。



対策だけをどんなにしても、やる側の意識を変えられないと減らないと思う。

- 火災の原因の1番が放火である事の周知徹底を、幾度でもする事が必要だと思います。
- 防火は、そのほとんどが深夜に発生すると思うので、一般的に防ぐのは大変難しいと思います。私もが日常の中でできる防火対策としては、自宅やその周辺に可燃物を出して置かない事かなと思います。町内全体が同じ認識にたつて可燃物の処理を適切に行う事ができるように、自治会の中で啓発活動に取り組もうと思います。あわせて自治体側からの力強い情報発信を、よろしく願いいたします。
- 放火がワースト1におどろきました。以前は我が町内でも夜に当番制で見回りがありました。今ではありません。またコロナ禍で防災訓練も縮小しており、意識が低くなったと思います。今は新聞をとらない家庭が増えたので新聞広告を使うより、回覧板や SNS や動画での広告の方が広く目に留まると思います。
- 不用品を屋外に置いておくとか、ゴミ箱は工夫してなるべく出しておかない方法を周知…ごちゃごちゃした実家が気になります…
- 放火による火災が多発しているのは驚きです。放火されやすい要因や条件は何なのか、集計も欲しいと思います。身近に放火による火災は聞いたことがないのでイメージしにくいと思いました。
- このアンケートを回答するまでは、放火が火災原因の一位だとは思っていませんでした。町内でもそう話題になったことは無く、多くの方が同様の認識ではないかと思える。行方不明人や危険情報などを市民に案内している市の広報車で、定期的に巡回呼びかけを行ったら広く伝播するのではないのでしょうか？また悪だくみをしている人へのけん制にもなるかもしれません。
- 放火が多いことを初めて知りました。常日頃から、近所づきあいを大事にし、不審者を来させない工夫が必要と感じました。
- 消防隊員の訪問は魅力的と思いましたが、それを語った悪い人が自宅に入り込む事を想像すると怖いのです。ですが、まさか静岡市内でこんなにも放火が多いとは思っていませんでしたので、意識して防火対策に取り組みたいです。
- 消防車両によるパトロール活動をぜひお願いします。かなりのインパクトを感じます。
- 常日頃から整理整頓に心掛けることと、火を点けられない環境を作ること。
- まずは、放火は誰にでも起こりうることを理解してもらうための普及・啓発が必要であり、そのための広報が重要だと考えます。
- 夜、家の前を燃えるものがないか確認する。
- 周知徹底に限ると思います。子供でもわかるように、また様々な文化の国の人もいるので家のまえに置かない方がいい物の例など分かりやすく掲示するなど。また、警察官が夜間などパトロールしてくれると抑止にもなり安心です。
- 静岡市の放火が多いことを知りませんでした。この事実を市民に周知させた方がいいと思います。
- 私の町内にも空き家があり、一目で空き家とわかります。難しいのかもしれませんが、放火されたら、ひとたまりもありません。空き家管理はどうにかならぬのでしょうか。
- 対策も含め、各家庭への注意喚起をしていただけると助かります。
- 放火による火災の原因が1番多いなんて知らなかったです。呼びかけ、働きかけにより一人一人が意識を持つことが大事だと考えます。
- 訓練や座談会など有効ではあると思うが 実際問題として参加できにくい。介護しているので家を空けられない。
- 放火が多いとはいえ年間50件未満ということは、費用対効果を考えた対策を実施してほしい。
- 行政の積極的な広報が必要。
- 空き地や空き家の管理を徹底してもらいたい。
- 屋外からの火災はたばこのポイ捨てから発生する場所があると思う。最近は禁煙ブームでポイ捨てが減ってはいるが朝道路に出ると、ポイ捨てされたたばこの吸い殻が捨ててあることがあるが夜中

- に歩きながらポイ捨てするのだと思う。住宅街のパトロールがあればいいと思う。また防犯カメラを住宅街に設置してほしい。ダミーカメラも有効だと思う。
- 火災発生の原因をできる限り速やかに広報して注意を促すことが大切だと思います。また町内会の防火対策と訓練が重要だと思います。
  - 燃えやすい物を屋外に置かないぐらいしか思い当たりません。
  - まずは、放火されやすそうな空き家や可燃物が多い場所をピックアップし、できる対策をすること。そして、日頃から消火および防火訓練を町内会などで実施し、いざというときの備えをすること。最後に、過去の放火火災について、その発生要因を専門家などで分析し、今後に生かせるように総括し、それを一般に公開すること。
  - 原因で放火が一位ということを知りませんでした。屋外で燃えるものはいたるところにあるので、もちろんそういったものの管理やパトロールは必要ですが、まずは自宅の対策(火事を起こさない)から行おうと思いました。
  - 放火がこんなに多いとは知りませんでした、対策よりも放火するような人を撲滅する活動を増やして下さい。
  - 放火の割合が多いのが、住人がいる個人宅なのか、空き家や空き地なのか、山等なのか気になった。割合の多い部分に対して、どの対策が効果的なのかしっかり検討する必要があると思う。
  - 静岡市のホームページ「放火されない環境づくりを！」を拝見しました。防火診断はよくできていると思う一方、わざわざ診断をしようとする人はあまりいないようにも思えました。何らかの講座等で防火診断をやってみるなどの工夫が必要かもしれません。また、放火の犯人は逮捕されているのか、動機は何か等も個人的には気になりました。
  - 広報紙等で詳細と対策などを掲載してほしい。一戸建とマンション、それぞれに応じた内容を紹介してほしい。
  - 予算、個人情報等の管理等課題があるが、防犯カメラの設置が放火に対して一番有効と考えます。
  - 放火火災…今まで自分ごととして考えたこと無かったです。静岡市で放火火災が多いのも知りませんでした。毎年20件以上あるなんて驚きました。まずは、市民の皆でこのことを周知して、家庭レベル、地域レベルで対策をしなくては！と思いました。夕方のTV情報番組で放送してください。放火火災の過去の具体的な事例を挙げて、それをもとに、具体的な対策を教えてくださいました。
  - 地域のコミュニケーションをしっかりとる。不審者の監視。
  - 今後、高齢者が増加し家を処分せず施設に入居して空き家が増加すると予測されるので、空き家の放火対策をどうするか早急に決めて欲しい。
  - 放火や不審火のない地域、そういう活動にも力を入れたい。
  - 隣近所との連携する連絡網の構築。(個人情報保護法を度外視して)
  - 空き家を放置しない。見回りの強化。
  - 日中は隣近所がお互いに注意することはできるが、夜間は難しいと思います。燃えやすいものは家の周りに置かない等自衛が大切かなと思います。各家庭に防犯カメラが設置できればいいのですが、費用を考えると難しいかなと思います。
  - テレビ等で火災の報道は毎日のようにされるが、その時点では原因が特定されていない場合が多い。最終どこでどんな原因で火災があったのかの総括の報告を何らかの方法で知りたい。
  - 家の外にゴミや不用品を置きっぱなしにしないように、誰かが見回りをして、指導すると良いと思います。
  - 街が暗い、死角があるというのが、放火しやすい要因になると思う。防犯灯や、防犯カメラのようなものを増やすのが良いと思う。
  - 放火犯の検挙率はどのくらいだろうか?自分達の周りの不審者情報など、分かったら情報交換出来る環境を作って欲しいし協力したい。

- 放火火災について意識したことはなかったが、私のような人たちに自分ごととして捉えられる機会や情報があるといいと思う。具体的な対策はわからないが、学校教育の中で取り入れて子供たちから意識づけを変えていくのも長い目では良いかもしれないと思う。
- 空き家の把握や、木材などの燃えやすそうなものを置いてある資材置き場等、放火で狙われそうなところを知っておく。
- 消火器の購入助成。
- 夜が特に危険な為、見回りや安全確保を徹底することが重要だと思います。自宅でできる防火対策を回覧板などを通して見る事ができれば、それを見たみんなが実践して火災が減るのではないかと思います。
- 高齢で体調不良です。自身ができることは、ほとんどありませんが、消防士さんだけに頼らず消防車や声でお知らせが、安心に繋がる気がします。今は嫌う人が居るかとも思いますが、昔に戻るのも良いかも〜。そして、火事が消えたら住人が亡くなっていた…自殺は防げないかと、心が痛みます。
- 空き家、特に放置されて崩壊寸前の空き家を沢山見かける。景観は勿論、安全、防火の点からも行政として所有者に指示、指導が出来るような法制面での対応が急務です。問題が分かっているながら、トラブルが発生しないと対処しないのは議会と行政の怠慢でしかない。迅速な対応を強く希望します。
- 年々増える空き家に対して、どんな管理支援を考えているか、知りたいです。
- 放火に関する回覧板は、最近きていないため必要だと思います。消防署、分団による巡回指導も実施してほしい。
- 放火火災に対しての意識はあまりないかもしれません。今回のアンケートで意識しようと思いました。また職場が介護施設ですが、防災訓練等がないことは以前より気になっていました。
- 放火火災が多いということを知りませんでした。しかし、身内に消防職員がいたことから、幼少期から自宅での防火対策について家族で話す機会が多かったため、家の周りに燃えやすいものは置かないなど、当たり前的事として身につけていました。小学校などで、放火火災についての話を子供達にするのも良いかと思います。
- 古紙回収のコンテナをあちらこちらで目にしますが、夜間の管理はどうしているのか心配です。夜間は回収できないように鍵をかけるなどしてあればよいのですが。
- 自治会内を自治会員が輪番制で定期的に巡回するようにしていけばいいと思います。
- 前記の対策の他に監視カメラ、人感ライトの設置への補助金。
- 地域での回覧板について、夜間回す方がいて夜中出しっぱなしになってしまっていることがあり、防火の面では危険だと感じる。自治会への注意喚起が必要だと思う。
- やはり人気のない所、燃えやすいものがあるところが一番怖いです。放火のみならず犯罪の温床にもなりえます。近所にもありますが空き家が今なんとかしてもらいたい場所です。ただ最近近くの交番勤務の巡査が、頭が下がるくらいパトロールしてくださっているのが有り難く、また安心材料でもあります。
- ずいぶん昔の事になりますが少年による新築住宅への放火事件があり、自治会で自警団を作ってパトロールをしました。その後犯人は逮捕されました。恐かったです自治会のみみんなが回っているときは安心でした。今の自治会でできるかわかりませんが消防任せでなく自分たちでできるならそういうことも必要だと思います。
- 消防署と消防団のさらなる連携強化。
- 広報アナウンスで放火のあった日時・場所を言ってほしい。
- 以前、居住していた県では午後9時頃に消防団が町中を車で巡回し、放火や乾燥による火災発生への注意喚起を呼びかけていた。地域の消防団には負担がかかっていたかと思うが、鐘を鳴らしながら巡回を行っており、注意が喚起されてよかった。このような活動が静岡でも行えればと思ってい

る。

- 放火が火災の原因の一位と知らなかったのが衝撃的でした。燃えるもの(段ボールなど)を屋外に置かないように気をつけたい。放火の対象になりやすい家など、知識や情報が市民に行き渡ると良いと感じました。
- 実際に消防車が巡回広報しているのが、一番効果あるのではないかと思う。
- 予防としては、放火の恐ろしさの啓蒙、火災による被害の種類や対応方法の教育。事後対応としては、火災発生時の対応訓練の繰り返し。
- 冬になると、消防団員の方かな？夜間に火の不始末に気をつけてと消防車で地域を回って来ていますよね。その時に放火が多い事の警告もしてくれたら意識するかな？と思います。このように、消防でも月に一度とか通年で（毎日とか頻繁だと慣れちゃって聞く耳を持たないので）地域を回るのはどうでしょうか。放火火災への対策意識を持たせるのと、放火犯の抑止につながるのではないのでしょうか。
- 自宅で火災を発生させないという意識は常にありますが、放火火災の意識が低かったため、今後はしっかり意識していきたい。

#### ◇所感◇

今回のアンケートで、静岡市消防局管内で放火が多いこと、静岡市消防局が放火対策に力を入れていることなど、市民の方々の認知度が低いことがわかりました。言い換えれば、放火に対しての対策、関心が薄いとも言えるかと思います。

その中で、市民はどのような対策、活動を行政に求めているのか、こういった活動、広報手段なら関心を得られるのか等をアンケート内で答えていただき、様々な御意見を頂くことができた非常に良い機会となりました。

「火災予防」は、事案が発生する前の事前の対策となるため、特定の方のみでなく、市民全体に広く意識してもらう必要があります。限られた予算、人員の中で、費用対効果を考慮し、今回のアンケートで得たデータを基に今後の事業展開に反映させていこうと考えています。